

まちのきこり人育成講座 活動報告

臨時講座『刈払い機の使用手法』

作成 櫻井 2010 年 9 月 21 日

1. 開催場所 : 三重県三重郡菰野町東江野「みえぎん まなびの森」
2. 開催日 : 2010 年 9 月 18 日 (土) 午前 9 : 00 ~ 15 : 00
3. 参加者 会員 : 、瀧口、瀧口 (朱)、櫻井 (敬称略)
一般参加者 2 名 計 : 4 名
4. 講師 櫻井龍彦
5. 内容

森林での作業は、チェーンソーだけではありません。夏の間は、間伐はあまり行われず下草刈りがほとんどで刈払い機を多く使用します。このため刈払い機の使用手法を熟知しておく必要があります。林災防の刈払い機講習会は座学が中心で、実技があまり行われませんので、実技中心の当講座は大変有効と考えて企画しました。また、刈払い機の事故が多く発生しているのも事実です。

これらことを考慮して、安全な作業を行うことに重点を置いた内容としました。

山林の下刈りでは、ループや2グリップが多く使われていますが、Uハンドルの方が水平に、安定的に操作できること。

肩ベルトは、タスキー本のみではなく腰に固定したフルハーネスの方がキックバックなどのときに手から離れても腰に固定されており飛ばされない。転落した時にも腰に固定されているので自分を切ることが無いなど。

また、足腰が安定していれば、安定した刈払いと安全な作業につながります。



刈り払った草が左側に集まるようになりました。



刈刃の確実な脱着と笹刃の目立てを行いました。

“森林の風”は安全、マナー・ルールを優先します。

まちのきこり人育成講座は、平成22年度 三井物産環境基金の助成を受けています。